

# 平成24年4月1日 開幕戦のベストショット！



## 青松園A第1試合 奈多サンデーズ 対 塩浜ジャガーズ

昨年本塁打王と打点王をW受賞した奈多サンデーズ田中俊弘選手の一撃！

(写真：ブルーマーリンズ 友重正司)

### 青松園A第1試合

奈多サンデーズ (1勝0敗) 1 0 0 2 1 4 江口 ○ - 荒口

塩浜ジャガーズ (0勝1敗) 0 1 0 0 0 1 内田 ● - 堀内

HR：木下、田中 (奈多サ) 2BH：荒口 (奈多サ) 内田 (塩浜ジ)

一回表、奈多サンデーズは先頭打者の木下隆弘選手が本塁打で先制。1点を追うジャガーズは二回裏、一死後、稗田登選手と小森俊亮選手の連続ヒットで一二塁とし、内田耕司投手の右中間二塁打で同点。なお二三塁と一打逆転のチャンスを迎えたが、江口宏之投手に後続が押さえられ1点のみに終わった。サンデーズは四回表、荒口健二選手が一死からレフト線二塁打で出塁すると、江口投手のレフト前安打で勝ち越し、さらに先頭打者本塁打で気をよくしている木下選手のライト前安打で二塁から江口投手も生還しこの回2点をあげた。五回表には3番田中俊弘選手の本塁打も飛び出し試合を決めた。両投手ともランナーを出すものの、内外野の堅守に助けられ開幕戦にふさわしい熱戦となった。負けはしたものの、前年度優勝チームのサンデーズを相手に接戦に持ち込んだジャガーズは、今年の台風の目になりそうな予感がある。

(記事：ブルーマーリンズ 友重正司、写真：友重正司・山野光一)



三角福岡市議会議員による始球式。



先頭打者本塁打を放つサンデーズ木下選手。



ジャガーズ稲富選手は二盗を狙うも、サンデーズ荒口捕手の好送球でタッチアウトに。



四回表、江口投手は木下選手のヒットで一気に二塁から生還し3点目。



サンデーズ田中選手はダメ押しの本塁打を放つ。



開幕戦で本塁打を放った木下選手と田中選手。

## 青松園A第2試合

三苦ホーネッツ (1勝0敗) 3 2 4 0 0 1 10

井手○ー松尾

奈多クラブ (0勝1敗) 0 0 1 0 4 0 5

吉田●、赤沢ー赤沢、高瀬

HR: 松尾 (三苦ホ) 今林祐将 (奈多ク) 2BH: 池間 (三苦ホ) 今林賢人 (奈多ク)

ホーネッツは初回から得意の足を絡めた攻撃が冴え、三回までに大量9点を獲得。反撃したい奈多クラブは三回裏、1番今林賢人選手が右翼線に二塁打を放つと、3番安部選手のショートエラーで1点を返す。さらに五回裏、2番から三連打で満塁とすると、5番今林祐将選手が中越え満塁HRを放ち4点差。しかし、6回表にホーネッツが1点を加え万事休す。ホーネッツはエース井手投手が完投し、四打数四安打の2番山崎健太郎選手や豪快な1発を放った3番松尾選手をはじめ12安打を放ち開幕戦を快勝した。今年もホーネッツの打撃と機動力に手を焼きそうだ。(記事、写真: 奈多サンデーズ 八島久徳)



快足を見せる2番山崎健太郎選手。4打数4安打!



三回表、開幕戦で特大HRを放った3番松尾選手。



三回裏、タッチを掻い潜る今林賢人選手。



今年も元気にマウンドで躍動する井手投手。



五回裏、追いつげの満塁弾！5番今林祐将選手。



六回裏、今林辰也監督自らセンター前を放ちVサイン。

### 青松園B第1試合

雁ノ巣ライナーズ（1勝0敗）100602 9 樽野○、鳥越一奥原

三友クラブ（0勝1敗）000310 4 足立●一小島

3BH：樽野（雁ノ巣）坂本、足立（三友ク） 2BH：池内、鳥越（雁ノ巣）清水（三友ク）

ライナーズ先攻で始まった好チーム同士の対決は、初回から強力ライナーズ打線が好投手三友クラブ足達投手を攻め立てる。が、バックの助けもあり初回のピンチを1失点で切り抜ける。その後は立ち直りを見せる足達投手とライナーズの新戦力樽野投手の投げ合いが続く。試合が大きく動いたのは四回表、ライナーズが2番池内、7番鳥越選手の二塁打を含む4安打を集中させ6得点を挙げた。その裏三友クラブも3番駄原選手、4番清水選手、5番足達選手のクリーンナップ三連打等で3点を返し意地を見せる。しかし、追いつげ届かず9対4で雁ノ巣ライナーズの勝利に終わった。強力打線であるライナーズに好投手樽野投手が加わった事により、ライナーズは優勝候補筆頭に名乗りを挙げた。（記事：三球会 小倉圭太、写真：中村元）



一回表ライナーズ池内選手本塁憤死！追加点を奪えず。



四回表、池内選手が2点目を奪う適時二塁打を放つ。



四回裏、足立選手の三塁打で一気に2人が生還。



雁ノ巣ライナーズ注目の新戦力、樽野拓也投手。

## 青松園B第2試合

ソルトベスターズ (0勝1敗) 0 0 0 0 2 1 1 4 中村(耕)●、鶴野一酒井

三苦三球会 (1勝0敗) 4 0 4 0 1 0 X 9 吉留○ー藤澤、山崎

HR: 永吉(真) (三球会) 3BH: 中村(祐) (ソルト) 2BH: 藤澤、渡辺 (三球会)

初回、三苦三球会は1点を入れて、尚も二三塁のチャンスに5番永吉(真)選手がレフトオーバーの3ランで4点を先制。三回にも四連続安打と相手エラーで4得点し、ソルトベスターズを突き放すかと思われた。しかし五回表ソルトベスターズは、二死から中村(健)、中村(祐)、中村(耕)の3連打で2点を返し反撃開始。その後、六回、七回とソルトベスターズは1点ずつ返すが追撃及ばず、三苦三球会が初戦を勝利で飾った。三苦三球会の吉留選手の安定したピッチングと仲間を気遣うチームワークの良さが、今年も台風の目となる予感をさせる一戦だった。(記事: 三友クラブ 駄原孝一郎、写真: 八尋豊)



初回ホームランを含む3安打の永吉(真)選手。



五回表、初得点となる三塁打を打った中村(祐)選手。



四回以降1失点に抑えたソルト鶴野投手。



今期1勝目を飾った三球会の吉留投手。

## 奈多グラウンド第1試合

奈多フェニックス（1勝0敗）0 2 2 0 3 1 8 池見○ー安河内

和白新町ウインズ（0勝1敗）0 0 0 0 0 3 3 早田●ー今林

3BH：安河内（祐）（奈多フ） 2BH：西藤（奈多フ） 野田（新町ウ）

奈多フェニックスは二回、2アウト一塁から1番西藤選手のレフトオーバー2点タイムリーで先制。そのまま、三回、五回も相手エラーや四球などから2点、3点と追加し、試合を決めにかかった。しかし、和白新町ウインズも今年の大事な初戦をこのまま終わらせる訳にもいかない。最終回裏は9番田坂選手からの攻撃。大事に四球で出塁すると1番桐島選手のセンター前ヒットで一塁。続く選手のアウトと1四球とアウトをはさみ2アウト満塁となった場面で5番野田選手の走者一掃の二塁打が出て一挙3点を奪い返した。最終的にはここまでだったが、和白新町ウインズにとっては次に繋がる試合となった。奈多フェニックスにとっては、幸先よく1勝を勝ち取った試合だった。（記事：三苦フレンズ 肥喜里一征、写真：三苦フレンズ 亀井秀夫）



さあ、開幕！試合前には笑顔がこぼれる両チーム。

## 奈多グラウンド第2試合

新町パイレーツ（0勝1敗）1 0 3 0 0 0 4 八坂、牟田●ー桐島

レッドサンデーズ（1勝0敗）1 0 3 1 0 × 5 土師、土田○ー三船

HR：桐島（新町パ） 3BH：土師（レッド） 2BH：土田（レッド）

一回表にパイレーツが先制するとすぐにその裏、レッドサンデーズも同点に。三回表にはパイレーツ桐島選手の2ラン、さらにヒット2本と相手エラーもあり計3点をもぎ取る。しかし、レッドサンデーズも計4本のヒットを重ねすぐさま同点に追いつく。四回裏にはレッド土師選手が3塁打を放ち、ここでパイレーツ八坂選手の痛恨の悪送球？により、この試合初めてレッドがリード。六回にはパイレーツも途中交代したレッド土田投手を1アウト満塁と攻め立てるが、レッドのショート宮口選手の好判断によるホームフォースアウトを取り試合が決まった。（記事：新町ウインズ 大久保浩、写真：早田主大）



桜をバックに両監督の握手で試合開始。



三回表、パイレーツは桐島選手の2ランで再びリード。



勝ち越しのホームイン！レッド土田寛太選手。



土田選手の投打にわたる活躍で、女房役のレッド三船新監督に初勝利をプレゼント。

## 第1週（開幕戦）編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

4月1日まだ肌寒さが残る中、平成24年度WSLが開幕しました。

開幕式では、各監督が今季の目標を発表し、選手達はやる気に満ち溢れたいい表情でした。

さて、各開幕戦ですが、青松園A第1試合・昨年優勝の奈多サンデーズ対完全試合を達成した内田投手を擁する塩浜ジャガーズは、昨季首位打者のサンデーズ木下選手の先頭打者HRと昨季打点王・HR王の田中選手のHRを含む先発全員安打で奈多サンデーズが4-1で勝利。ジャガーズも藤本杯でホーネッツを破っているので、今年は上位に食い込むことができそうな予感。

青松園A第2試合の三苦ホーネッツ対奈多クラブ戦は、得意の機動力を発揮したホーネッツが終盤追いつがる奈多クラブを振り切り10-5で勝利。昨年逆転で首位打者を逃したホーネッツ山崎選手が4打数4安打の好発進。奈多クラブ今林祐将選手の満塁HRもセンター山崎選手がよく追い付き捕りはしたものの、HRラインを超えていたのでHRでした。各チームホーネッツの足対策はしておかなくてははいけませんね。

青松園B第1試合の雁ノ巣ライナーズ対三友クラブ戦は、ライナーズの新戦力樽野拓也選手（21歳・背番号18）と鳥越康介選手（19歳・背番号1）の活躍もあり、三友クラブを9-4で破りました。打力はあるのになかなか上位に勝てなかったライナーズも優勝候補に名乗りを上げる1勝です。三友クラブは新戦力の補強なく今年に臨んでいるので、各人が昨季を越える活躍をもって、上位に食い込んで欲しい。

青松園B第2試合のソルトベイズターズ対三苦三球会戦は、昨年プレーオフで涙を飲んだ悔しさを晴らすかのような序盤からの大量得点で三球会が9-4で勝利。澤田選手の穴を埋めるかのよう一回と三回に中軸の連打が出た三球会は、今年も優勝争いに絡んできそう。今年こそは栄冠に手が届くか？一方ソルトは昨年に引き続き、序盤に失点、打撃陣は後半にやっと機能しだすというパターンが見受けられる。もっと事前準備に熱を込める必要があるかも。

奈多グラウンド第1試合の奈多フェニックス対新町ウインズ戦は、6安打ながらコンスタントに得点を重ねたフェニックスが8-3で勝利。昨季最終戦を腰痛のため投げられなかったフェニックス池見投手も完投。三回まで3人で攻撃が終わっていたウインズも最後に意地を見せたが、打力の底上げのためには20代が一人という現状から新戦力の投入等も必要か？

奈多グラウンド第2試合新町パイレーツ対レッドサンデーズ戦は、藤本杯において、三球会に勝利し、奈多+レッドサンデーズを完膚なきまでに打ち崩し、準優勝したパイレーツがリードしては、レッドが追いつくという手に汗握る展開。そしてついに四回裏に逆転に成功したレッドは初登板の土田選手をバックも守り立て、5-4で熱戦を制した。今年レッドの監督に就任した三船監督は、自身も捕手として投手をリードしての勝利で喜びも一入（ひとしお）でしょう。昨季躍進賞を受賞し、今年に賭けているパイレーツにとっては、思わぬ伏兵の一槍にやられたという感じでしょうか？今後どう巻き返すかが楽しみです。

さて、今季から広告の掲載が始まりました。各チームは、担当前月最終週までに広告をメールにて八島に送ってください。まだまだ改良の余地がありますが、順次1ヶ月間掲載します。ソルトベ이스ターズは4月分を早く送ってください。

そして、試合速報も少しリニューアル。出場バッテリー名、三塁打（3BH）、二塁打（2BH）者名、各チームの勝敗数、写真撮影者名を掲載するようにしました。

今年も各編集委員さんの活躍によって、熱い試合速報が展開されますので、複数枚の写真（プレー、スコアブック）、正確で熱い記事を早めに（早い方はその日中に来ます）必ず火曜日午前中までには八島に送ってください。

4月8日（日）は、5試合です。

	一塁側		三塁側	審判
青松園A	ブルーマーリンズ	VS	三苦ホーネッツ	新町パイレーツ（1）
青松園B	三友クラブ	VS	奈多フェニックス	新町パイレーツ（2）
奈多グラ	奈多クラブ	VS	雁ノ巣ライナーズ	レッドサンデーズ
雁レクD	新町ウインズ	VS	三苦三球会	塩浜ジャガーズ（支払い）
雁レクE	三苦フレンズ	VS	奈多サンデーズ	ソルトベ이스ターズ